第 25 回名古屋大学下宿用品リユース市

報告書

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

［作成者：大槻（代表）］

2020 年 3 月 26 日作成

はじめに

名古屋大学下宿用品リユース市は始まって以来 24 年間中止となったことはなく、毎年続けてこられました。25 回目にあたる今年度も、多くの卒業生・地域の方から物品の提供申し込みをいただき、例年通りの開催を予定しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた、政府の発表に準じる名古屋大学の方針として、学内におけるイベントの自粛並びに課外活動の当面の中止が要請され、当リユース市に関しても 2 月 29 日回収・提供の全面中止を決定いたしました。

第 1 回目のトラック回収を 4 日後に控えた段階での決定であり、提供を予定されていた方には急な変更を強いてしまいました。心よりお詫び申し上げます。より早い段階での、方針決定・通知が出来るように、不測の事態に備えたより細かな行動指針の構築と利用者への周知を行ってまいります。

今年度は実際に行うことはできませんでしたが、収支の適正化と運営の効率化のために開催場所・運営方法にいくつか計画の変更を加えました。来年度の開催についてはどうなるか分かりませんが、また 1 年間をかけ、より良いリユース市の運営形態について検討してまいります。

さいごに、第 25 回名古屋大学下宿用品リユース市の開催に向けて、ご尽力・ご協力してくださった名古屋大学・名古屋市をはじめとした皆様に、心よりお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

第 25 回名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会　代表

大槻 峻介（農学部 2 年）

目次----------

I.　概要

II. 目的と目標の達成状況

III. 開催までのスケジュール

IV. 回収

V. 前日準備

VI. リユース市当日

VII. 前年度からの変更点

VIII. 改善点

IX. 総括

X. 決算

I.　概要

名称

第 25 回名古屋大学下宿用品リユース市（略称　リユース市）

主催

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

後援

名古屋大学、名古屋市

協力

名古屋大学（施設・設備の提供）

開催日（中止）

2020 年（令和 2 年）3 月 29 日（日）

開催場所

名古屋大学第 2 課外活動共同棟サークル室（15）及びその前の広場

問い合わせ先

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

愛知県名古屋市千種区不老町　名古屋大学学生会館（環境サークル Song of Earth 宛）
reusemarket758@yahoo.co.jp
080-9486-0910（1 月頃からのみ）
https://reuse-nagoya.org/index.html

II. 目的と目標の達成状況

目的

×環境負荷低減のために、下宿用品のリユースを推進する。

中止となってしまい、回収・提供が基本的にできなかった。

目標

△社会に適合したスマートな運営で事業の持続性を確立する。

計画段階では、赤字の防止・運営の効率化を目指し、開催場所・物品投票の電子化などの検討を行った。メンバーの減少は最重要の課題。

中止になり、寄付収入の大半が無くなったため、準備に係った費用を中心に 11,231 円の単年度赤字となった。

△次年度以降の運営人材の育成。

提供物品の受付などは 1 年生を中心に行い、ある程度流れは継承できたと思われる。ホームページ更改などに関しても、実際には行ってもらわなかったが操作方法等は伝授した。

回収・準備・当日運営に関しては、全く行うことが出来ず一切の継承ができていない。来年度は、経験者が大きく減ることから、運営方法について再考が必要である。

III. 開催までのスケジュール

7月　名古屋大学との調整、開催日・開催場所の検討

8月　**開催日・開催場所決定**、**予算・企画書作成**、名古屋大学との調整

9月

10月

11月　**回収日・物品回収数等決定**、**HP 開設**、**サーバー等契約更新**

12月　**開催告知**、**広報物作成**、開催日マニュアル推敲、**後援申請**、全新歓

1月　**開催広報**、**広報物印刷**、各種申請、備品確認、全新歓

2月　**回収広報（ビラ掲示）**、**携帯電話契約**、開催広報、**持込回収**、全新歓、**中止決定**

3月　決算・報告書作成

4月　事後整理（予定）

IV. 回収

2 月 26 日、26 日付で名古屋大学より通知があった、「学内における学外者を招いたイベントの自粛要請」を受け、トラック回収の中止を決定。同 27 日、提供者へ通知。持ち込み回収については、インターネット公開による後日提供などの代替案を検討。

2 月 28 日、27 日付で名古屋大学より通知があった、「3 月 15 日までの課外活動の中止要請」を受け、持込回収も含めた全面的な中止を決定。同 29 日、提供者へ通知。

26 日時点で 19 件の申し込み（学内者 12 件、学外者 7 件）があった。実際に回収することが出来たのは、1 件（学外者）である。来年度以降の出品・学内利用等を検討する。

V. 前日準備

2 月 26 日、中止決定。

VI. リユース市当日

2 月 26 日、中止決定。同 27 日通知。のち HP の変更等を通じて周知。

VII.　昨年度からの変更点（計画段階含む）

宣伝方法

- 費用の節減・効率化のため、立て看板による宣伝をなくし、各学部学科の事務室掲示板等へカラー印刷のポスター（参考資料①）を掲示した。立て看板作成・管理の手間は無くなったが、広報効果については不明。文系学部を含むより広範囲に設置可能。
- 印刷枚数の削減のため、研究室に配布するビラ（参考資料①）を A5 に変更。A4 に 2 枚印刷することで印刷数を半減。

HP の多言語化（英語ページの追加）

- ある方面から留学生の参加が少ないと指摘を受け、周知のため、ホームページ・提供フォームに英語版を追加。不完全であり今後の修正が必要。HP の管理作業が倍になることへの費用対効果は不明。

提供物品の電子管理・公開［計画］

- Dropbox や HP 上で提供する物品の情報・写真を随時公開することを検討。来場者と物品のミスマッチをなくすと共に、当日の流れを円滑にすることが期待される。

トラック回収範囲の縮小

- 運営メンバーの減少により、名大生の下宿地域周辺へ回収範囲を縮小。

提供物品の清掃方法・動作確認の規格化

- 来場者へ明示することで、より物品レベルの基準を持ってもらう。清掃備品を統一することで支出の削減も期待される。

トラック回収日の削減

- 運営メンバーが少ないこともあり、トラック回収日を 1 日削減。持ち込み回収の対応日を拡大。回収日の減少は物品・収入の減少にもつながるため、注意が必要。

開催場所・日時の変更

- 準備・当日のトラック費用削減のため、開催場所を倉庫前に変更。10,000 円ほど削減。運営の準備面では簡単になるが、当日の天候に左右される。また、航空部の機体や工事車両（近隣建物が改修工事中・当日は休工）などがあり、安全面で注意が必要。

配送料の値上げ

- 赤字削減のため、後日配送料を冷蔵庫・洗濯機 1,000 円/品、その他 500 円/品に変更。

希望物品への電子投票［計画］

- 作業効率化のため、グーグルフォームを利用した電子投票を検討。抽選に関しても、電子化を模索。投票・抽選の効率化の他、投票の変更・アンケート集計が容易になることや当日配布物の印刷量減少が見込まれる。スマートフォン等の非利用者は紙への記入ののち、スタッフが登録するなどの対応。

災害時対応の策定

- 自然災害に対する運営方針・行動計画を企画段階で策定した。避難場所の把握・誘導経路の確認は現地においても行うべき事項である。
- 感染症は想定外であり、行動計画は無かった。

VIII. 改善点

- 判断の決定方法が不明確。今年度の場合、実際に合うこともできず、迅速に判断・方針を下す必要があった。意思決定方法を正確に定める必要を感じた。
- 代表の職務が多い。マニュアルもなく、ほとんど手探りで行うこととなった。下準備段階での作業（契約・渉外・HP 更改等）を分担するべきである。今年度は 2 年生が 1 人しかいなかったのも要因である。
- 運営者が少ない。経験者でもある 3 年生が忙しく、数人での計画となった。スタッフ募集に関しても、1 月に宣伝を行おうと決まったが、テストなども近くできなかった。スタッフ募集を行うのであれば、年をまたぐ前の早い段階から行うべき。
- 留学生は留学生のコミュニティーを利用して、情報を交換しているようである。名古屋大学東山レジデンスでも、同様のバザーを実施しているとのこと、連携も考えられる。
- 物品の電子抽選に関しては、未だ技術的課題が多い。

IX. 総括

運営メンバーが非常に少なく、作業量を減らす事が何よりの課題であった。その中でも、いままでの踏襲ではなく、より効率良く・無駄を省くためにできる事はやろうとする考えはあった。

結果、新型コロナウイルスの感染拡大という不測の事態となり、中止に追い込まれた。しかしながら、その中でも提供を希望する卒業生や物品を希望する新入生からの問い合わせはあり、リユース市という形に頼らない下宿用品リユースの仕組み（提供者と希望者をつなげるなど）の構築も必要であると感じた。IT 化により運営人数を大きく減らした運営も可能であると想定されるが、どちらも技術面の壁は高い。

京都大学リサイクル市などは今年度も開催したようであり、他大学の運営に学び・取り入れていくことも必要不可欠である。

来年度以降のために、今年度の反省を十分行い生かしていきたい。

X. 決算

- 単年度収支は 11,231 円のマイナスであった。要因は中止によりカンパ収入がなかったためである。
- 新型コロナウイルス感染拡大による損失は、固定費であるサーバー管理費を除く 7,753 円である。特に通信費のうち 5,000 円はプリペイドチャージを行った後、一切使うことがなかった。

収入の部

収入		決算	予算	差額
カンパ	回収カンパ	¥ 2,000	¥ 75,000	¥ -73,000
	当日カンパ	¥ -	¥ 20,000	¥ -20,000
	その他カンパ	¥ -	¥ -	¥ -
後日配送料		¥ -	¥ 5,000	¥ -5,000
前年度繰越金		¥ 260,597	¥ 260,597	¥ -
その他		¥ 1	¥ -	¥ 1
合計		¥ 262,598	¥ 360,597	¥ -97,999

支出の部

支出		決算	予算	差額
運送費	レンタカー費	¥ -	¥ 55,000	¥ -55,000
	燃料費	¥ -		
	駐車費	¥ -	¥ 2,000	¥ -2,000
消耗品費		¥ 1,960	¥ 8,000	¥ -6,040
備品購入費		¥ -	¥ 5,000	¥ -5,000
通信費		¥ 5,084	¥ 5,000	¥ 84
印刷費		¥ 710	¥ 1,000	¥ -290
スタッフ補助費		¥ -	¥ 10,000	¥ -10,000
HP管理費		¥ 5,478	¥ 5,500	¥ -22
保険料		¥ -	¥ 3,500	¥ -3,500
物品処分費		¥ -	¥ 5,000	¥ -5,000
広告宣伝費		¥ -	¥ -	¥ -
その他（予備費）		¥ -	¥ 260,597	¥ -260,597
合計		¥ 13,232	¥ 360,597	¥ -347,365

参考資料①

使わなくなる下宿用品をご提供ください！！

リユース市で家具・家電の再使用を。

リユース市について

名古屋大学下宿用品リユース市とは、名古屋大学を卒業される皆様と入学する新入生を繋ぎ、下宿で使う家具・家電の再使用を推進するイベントです。1995年から行っており、今回で25回目になります。

今年度は2020年3月29日に開催します。**皆様の使ってこられた下宿用品を是非ご提供ください。**

主催：名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

後援：名古屋大学・名古屋市

詳しくはHPをご覧ください。

援助のお願い

リユース市での回収・提供は原則**無料**で行っていますが、回収・配送時のトラックのレンタルや提供された物品の清掃等に10万円程かかっています。

私たちのリユース市は皆様からのカンパで成り立っています。来年度も続けていくために、**カンパをお願いします。**

ご理解・ご協力をお願いいたします。

物品の回収　**1月15日(水)より受付開始**

1.対象となる物品

家具・家電・雑貨（冷蔵庫、洗濯機、机など）※一部対象外

- 下宿に適した大きさであること。
- 今後4年間の使用に耐えるもの。（家電:2010年以降製造）

2.回収方法

- トラック回収：スタッフがご自宅まで伺います。（回収可能件数に制限がございます。）

  回収予定日 3月3日(火)、8日(日)、14日(土)
- 持ち込み回収: 倉庫まで物品をお持ちいただきます。

リユース市公式HP　　リユース市公式Twitter

詳しくはこちら！！

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会
https://www.reuse-nagoya.org
Mail：reusemarket758@yahoo.co.jp
TEL：080-9486-0910
代表：大槻峻介（名古屋大学農学部2年）

参考資料②-1

令和2年2月27日

関係者各位

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会　代表
大槻峻介（名古屋大学農学部2年）

新型コロナウイルス感染症への当委員会の対応

既に報道等でご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、さらなる流行が懸念されております。

日本国政府の発表及びそれに準ずる名古屋大学の方針を受けまして、当委員会も3月29日に開催を予定しておりました「名古屋大学下宿用品リユース市」及び物品の回収について、下記の対応を決定いたしました。

また、詳細につきましては確定し次第、お知らせいたします。

記

名古屋大学下宿用品リユース市当日（3月29日）

・名古屋大学の要請(※)により、開催を中止する。
※詳しくは名古屋大学HP（http://www.nagoya-u.ac.jp/info/covid-19.html）を参照のこと。

トラック回収（3月3日、8日、14日）

・リユース市当日の中止により、物品の提供並びにトラックのレンタル等に係る費用の捻出が困難となったため、回収を中止する。

持ち込み回収（3月3日、8日、14日、28日及びその他実施日）

・リユース市当日の中止により、物品の提供が困難となったため、原則(※)回収を中止する。
※Webによる物品の公開などによる提供を検討する。

代替実施

・持ち込み回収のみ行い、Webによる公開にて提供するなど代替方法を検討する。
・数日以内に決定し、大学から許可がおりれば、実施する。

以上

――照会先――
名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会
愛知県名古屋市千種区不老町名古屋大学学生会館
（環境サークルSong of Earth宛）
TEL 080-9486-0910
reusemarket758@yahoo.co.jp

参考資料②-2

令和2年2月29日

関係者各位

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会　代表
大槻峻介（名古屋大学農学部2年）

新型コロナウイルス感染症への当委員会の対応（第2報）

2月27日付けで名古屋大学より通知がありました、「3月15日までの課外活動の全面中止」要請を受けまして、当委員会も3月29日に開催を予定しておりました「名古屋大学下宿用品リユース市」及び物品の回収について、対応の一部を変更いたしました。

ご提供を予定されていた皆様につきましては、多大なるご迷惑をおかけする事、心よりお詫び申し上げます。

先日のお知らせからの変更点は下線部の通りです。

記

名古屋大学下宿用品リユース市当日（3月29日）

・名古屋大学の要請(※)により、開催を中止する。

※詳しくは名古屋大学HP（http://www.nagoya-u.ac.jp/info/covid-19.html）を参照のこと。

トラック回収（3月3日、8日、14日）

・課外活動の全面禁止により、回収を中止する。

持ち込み回収（3月3日、8日、14日、28日及びその他実施日）

・課外活動の全面禁止により、回収を中止する。

代替実施

・実施しない。

以上

――照会先――
名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会
愛知県名古屋市千種区不老町名古屋大学学生会館
（環境サークルSong of Earth宛）
TEL 080-9486-0910
reusemarket758@yahoo.co.jp

参考資料③

収支明細

収入

番号	種別	金額	登録日	備考
1	前年度繰越金	¥ 260,597	2019/12/9	
2	その他	¥ 1	2019/12/9	利子
3	回収カンパ	¥ 2,000	2019/3/3	持込回収（3/3）1件

支出

番号	種別	名目	金額	備考	使用日
1	通信費	後援申請送付郵送料	¥ 84		2019/11/29
2	HP管理費	サーバー更新費用	¥ 3,465	¥3,300+手数料¥165	2019/12/8
3	HP管理費	ドメイン更新費用	¥ 2,013		2019/12/10
4	消耗品費	印刷用紙（A4）	¥ 1,470	￥490×3	2020/1/14
5	印刷費	募集ビラ印刷	¥ 420		2020/1/14
6	印刷費	募集ビラ印刷	¥ 290		2020/2/6
7	消耗品費	印刷用紙（A4）	¥ 490		2020/2/17
8	通信費	携帯電話プリペイド	¥ 5,000		2020/2/17